

令和5年度 市の財政状況

毎年6月と12月に「市の財政状況」を公表しています。今月号では、令和5年度の決算と令和6年度上半期(4月～9月)の予算執行状況についてお知らせします。

理財課 ☎21-0206

普通会計

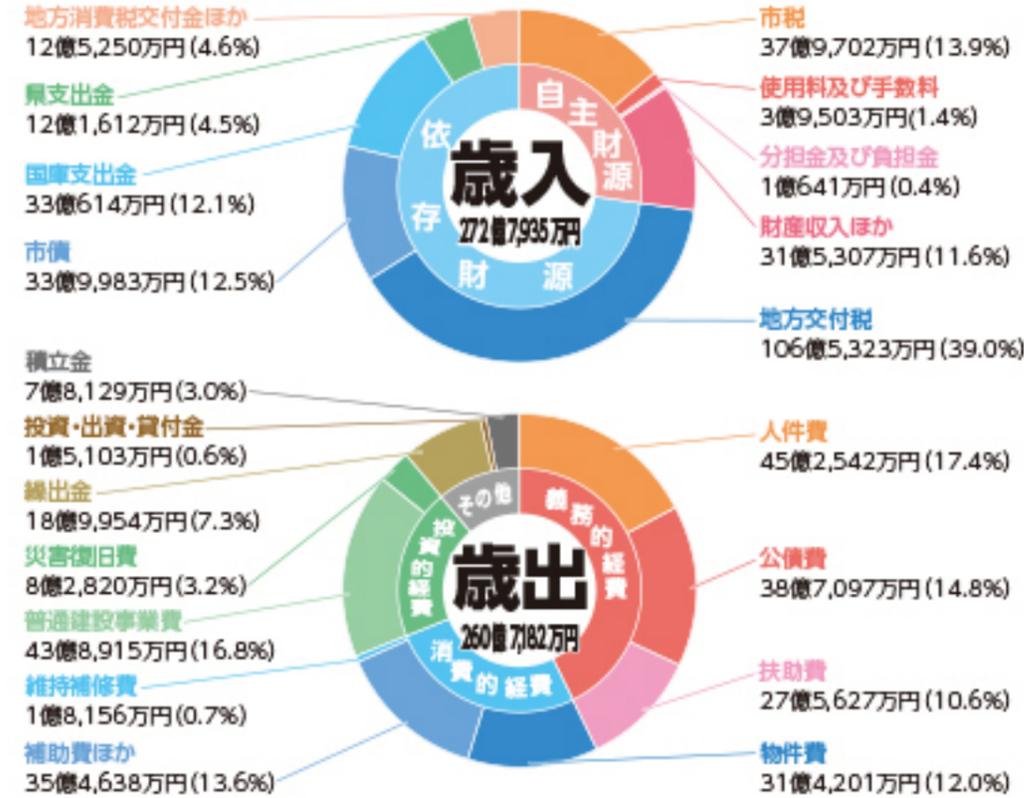
令和5年度決算額は歳入総額272億7,935万円、歳出総額260億7,182万円、歳入から歳出と令和6年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、8億9,528万円の黒字となりました。

歳入 272億7,935万円

高梁こども園、有漢義務教育学校、新消防庁舎の整備といった大規模事業を実施しており、その事業費に充てるための地方債が増となりました。また、繰入金については、物価高騰対策などのため、基金を活用したことにより大幅な増となっており、歳入全体では、前年度と比較して6億3,975万円(2.4%)の増となりました。

歳出 260億7,182万円

人件費の増や大規模事業の実施などにより前年度と比較して3億4,742万円(1.4%)の増となりました。



会計名	歳入	歳出
国民健康 (事業勘定)	33億9,756万円	33億6,863万円
保険 (箇所勘定)	113万円	113万円
後期高齢者医療特別会計	5億4,697万円	5億4,601万円
介護保険 (事業勘定)	53億8,468万円	52億215万円
介護保険 (サービス勘定)	5,320万円	5,320万円
特別養護老人ホーム	2億9,173万円	2億9,173万円
地域開発事業	4,531万円	4,452万円
巨額財産地区	225万円	225万円
宇治財産地区	810万円	68万円
有漢財産地区	99万円	99万円
計	97億3,192万円	95億1,129万円

特別会計は特定の収入により特定の事業を行うもので、10の特別会計の歳入総額は97億3,192万円、歳出総額は95億1,129万円となりました。

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業会計について、下水道事業においては341万円の純利益となり、水道事業においては8765万円、成羽病院事業においては1億9221万円の純損失となりました。

企業会計名	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入 9億8,732万円 支出 10億6,158万円	3億2,987万円 5億9,680万円
下水道事業	収入 9億1,937万円 支出 8億9,079万円	8億6,153万円 11億2,004万円
成羽病院事業	収入 20億6,829万円 支出 22億5,947万円	9,435万円 2億7,400万円

企業会計名	収益的収支(経費)	純利益
水道事業	総収益 9億3,038万円 総費用 10億1,803万円	△8,765万円
下水道事業	総収益 8億7,244万円 総費用 8億6,903万円	341万円
成羽病院事業	総収益 20億5,731万円 総費用 22億4,952万円	△1億9,221万円

※収益的収支：運営費や維持管理費に要する財源や経費
資本的収支：建設および企業債の償還に要する財源や経費

令和5年度に実施した主な事業

ヒルクライムチャレンジランフوند 高梁開催事業 200万円

10月第1日曜日を自転車の日と位置づけ、市内をサイクリングで周遊するイベントを開催。



吹屋エコビークル運行事業 229万円

吹屋地区において、観光客の回遊性向上および魅力UPを図るため、次世代モビリティである電気自動車を運行。



県立高校魅力化事業 310万円

市内における高等学校の魅力化と教育体制の継続による地方創生を実現するための事業を実施。



出産・子育て応援事業 (おむつ支援事業) 430万円

保護者の経済的負担やおむつの管理を行う保育士などの負担の軽減を図るため、保育所などで紙おむつを支給。



地方債の現在高

地方債の現在高は417億5,515万円となり、前年度と比較し8億9,864万円(2.1%)の減となりました。

基金の現在高

基金の現在高は93億2,320万円となり、前年度と比較し6億4,695万円(6.5%)の減となりました。

令和6年度上半期(4～9月)執行状況

会計名	予算額	執行額	執行率
普通会計	291億8,814万円	98億4,698万円	33.7%
特別会計	104億1,444万円	37億6,540万円	36.2%
公営企業会計	71億7,580万円	19億4,502万円	27.1%

用語の解説

(歳入)
市税…市民税、固定資産税など市に納められた税金
地方交付税…市町村の現状に合わせて国から交付されるもの
市債…市が借り入れたお金
国・県支出金…国・県からの補助金、負担金など
繰入金…基金の取り崩しや他会計から入るお金
自主財源…市が自ら徴収または収納できる財源で、市税、使用料、手数料、寄付金、財産収入など
依存財源…国や県から交付されたり割り当てられたりする収入のことで、地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、市債など
(歳出)
公債費…市債の元金返済、利子の支払いに要する経費
扶助費…生活扶助、教育扶助などの経費
物件費…一般事務や施設の保守管理などの経費
普通建設事業費…道路の新設・改良や施設の新築・増築などの経費
災害復旧費…台風などで被害を受けた施設の復旧のための経費
繰入金…一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など
積立金…特定の目的のための積み立て
義務的経費…支出が義務付けられている人件費、扶助費および公債費。この経費の割合が小さいほど財政に弾力性があると言える
消費的経費…経費の支出効果がその年度限り、または極めて短期間に終わり、後年度に形を残さない性質の経費。物件費、維持補修費、補助金など
投資的経費…道路や住宅の建設など資本形成に向けられ施設等財産として後年度に残るものへの経費